

湯田 克治
 KATSUJI YUDA
 21世紀未来博覧会協会専務理事

◆プロフィール
 1937年旧満州奉天市（現在の中国瀋陽市）生まれ、中央大学法学部卒、1978年自治省から県庁入り、1990年水産部長、1992年商工労働部長、1998年現職に就任。趣味はペーパーコレクション、特に、新聞号外は明治時代から最近のものまで多彩。つい最近も、スポーツに縁の深い山口きらら博にちなんで「元気発進！スポーツニュース号外展」を開催する程の熱の入れようである。



聞く、語る、**特集 対談**

山口県の未来を「創る」「観る」「感じる」博覧会

●ご出席 21世紀未来博覧会協会専務理事 湯田 克治 ● 社団法人山口県建設業協会会長 藤本 宏司

二〇〇一年、今年は山口県始まって以来最大のイベント、山口きらら博が開催されます。そこで、今回は、博覧会の陣頭指揮をされている21世紀未来博覧会協会専務理事・湯田克治さんを社団法人山口県建設業協会・藤本宏司会長がお訪ねしてお話を伺いました。

『大変』の二文字は 飲み込みました

藤本／山口きらら博開催前の今、大変お忙しいと思いますが、本日はよろしくお願ひします。いよいよ開催も目前となりましたが、ご苦労も多かったと思います。極めつけの苦勞話などをお聞かせ下さい。

湯田／三年前に専務理事に就任した時、周囲の多くの皆さんに「大変です」とよく言われました。確かにそうかも知れないけど「大変だ」と思ってしまうと自らを追い込むだけと考え、『大変』の二文字は腹の中に飲み込むことにしました。そして「千載一遇のチャンスを与えてもらった」と考え、苦勞を楽しんでみようと思いました。

藤本／そうですね。トップが「大変だ」と考え込んでいては、他の職員もみな、前向きにはなれませぬよ。

湯田／とは言っても、大変な苦勞の日々だと思えます。その苦勞の積み重ねの中で、とても「いい仕事」をしていますので、私は、それを世に出すために、説明会やイベント

などでPRに努めておりまして、実は、聴衆の前で「お元氣音頭」を踊ったりもしているんですよ。藤本／そうですね。汗をかいてくれる人も、どこかに楽しみを見つけて、やって欲しいですね。仕事を楽しんでおられるのは、すばらしいことだと思います。我々、建設業協会も精いっぱいのお手伝いをさせていただきます。入場券六万枚購入と



藤本 宏司
 KOJI FUJIMOTO
 (社)山口県建設業協会会長

イベントホールへの二億円の協賛金を拠出させていただきました。私共も、この博覧会は必ず成功してもらいたいと思っています。湯田／ありがとうございます。元氣を与えていただき、建設業協会の皆さんには改めて厚くお礼申し上げます。お陰様で去年の第一期前売りは予想を大きく上回る成果をあげました。出足好調で大変喜んでいきます。

藤本／我々の気持ちとしては、精いっぱいのご協力をさせてもらったつもりです。ところで同時期に開催される北九州博覧祭について

は、私の会社も北九州には出先があり、気にはなっておりますが、北九州との関係はどういう風にお考えですか？

湯田／よく話題になりますが、隣人同志は善隣友好が基本です。従いまして、敵対視するのではなく良きライバルとして、いい意味で競争しながら共に成功したいものだと思います。

事業の進捗に合わせて、内容がよりビジュアルに露出できるようになりましたので、第二期の前売入場券の販売促進のためにも、更に有効的なPRを強めたいと思えます。とにかく、県民によく知っていただくことが大事ですからね。藤本／そうですね。ところで、目標の二〇〇万人達成はもう大丈夫のようには思いますが如何ですか？

湯田／第一期前売りが約一二万枚でしたが、第二期も頑張って、前売段階で限りなく二〇〇万枚に近づきたいと思っています。そうすると、ひよっとしたら三〇〇万の舞台も夢ではないのでは……と思います。博覧会といえども、収支構造を持つたイベントですので是非とも正夢にしたいですね。

業に及び、全額は七八三億円になっています。県内経済に多大なメリットがあったと聞いていますので、本県でも期待したいですね。

山口県始まって以来の 一大イベント

藤本／県民意識の向上、地域活性化への効果はどうでしょうか？

湯田／経済的效果とは別に、博覧会につなげる社会的効果にも大いに期待しています。お陰様で、県民のための博覧会として、県民の手で成功させよう。そして、博覧会も県民の手で21世紀の山口をつくっていくという元氣人間が沢山集まっているような活動をしています。この人達のネットワークやエネルギーは21世紀の人づくりや地域づくりの資産です。そういう意味でも、山口県始まって以来の一大イベントを大成功させなくてはなりません。藤本／そうやって欲しいですね。我が協会は地域に関係なく同じ条件で力を出し

建設業協会協賛のイベントホールイメージパース



藤本／何が成功かと言え、汗をかいた人が満足いく汗だと感じてくればいいんじゃないですか。そう言いながら、経済的な効果が気になりますか、どう思われますか？

湯田／景氣回復のテンポが遅いだけに、経済的效果に期待する方が非常に多いですね。残念ながら、その数字は閉幕後でないと出てきません。参考までに、四年前の山陰・夢みなと博の例を見ますと、県内での直接投資・消費額は四六七億円。その生産誘発額は建設業を始め多くの産



山口きらら博会場イメージパース



建設中の山口きらら博会場

交通アクセス

- 広島方面より
山陽自動車道山口南ICから15分
- 九州方面より
山陽自動車道宇部下関線経由
山口宇部有料道路阿知須ICから5分
- 山口宇部空港から車で15分
JR山陽新幹線小郡駅から車で10分
JR宇部線阿知須駅から徒歩15分



「夢」の町
遊戯施設がつくり出す「夢」のような時間と空間の中で、遊びながら「元気」を体感するゾーン。



「躍動」のフィールド
スポーツイベントや健康イベントを通じて、体を動かす楽しさや健康の素晴らしさを体験するゾーン。



「のどか」な海と丘
「月の海」と「太陽の丘」を中心に、人と自然ののどかなふれあいを演出するゾーン。



やまぐちお魚ビーチ
(水とのふれあいの楽しさ、海・川の恵みの豊かさ)



海のミュージアム きららアニマルパーク サンサンパーク
(海の「のどかさ」「おもしろさ」を) (動物とふれあい、遊びながらスポーツ精神や体力づくりを) (いのちを大切にすることを)



「冒険」の散歩道
自然、産業、文化など、山口県のみならず「元気の素」との冒険に満ちた出会いを演出するゾーン。



きらめき・みのりパーク
(いのちのみのり)



やまぐち夢KOBAN
(「いのち」の輝き、大切さ)



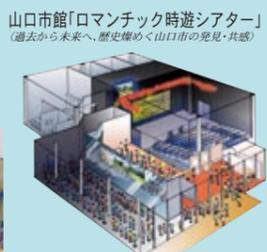
市町村館「めぐる〜とやまぐち」
(市町村の個性と魅力あふれる元気ときらめき体験)



いきいきエコ・パーク
(いのちのつながり)



土木建築館「フューチャーランド」
(これまでの、これからの「土木建築」の人と技術の発展)



山口市館「ロマンチック時遊シアター」
(過去から未来へ、歴史探めく山口市の発見・共感)



宇部市館「スペースカット2001」
(子どもたちの夢を実現するために知恵と力を)



元気産業館
(ものづくりが切り拓く未来)



山口県館「やまぐちいのち燦めく地」
(時代を超えて受け継ぐ元気)



「マツダわくわくドライブ館」
(人と社会とクルマの未来)



「ふれあいワールドプラザ」
(きらめき交流新時代〜世界とふれあう、世界に学ぶ)



きららホール



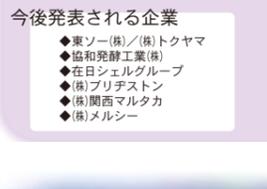
NEC ビッグロープキャンブ
(近未来インターネット活用による自然との交流)



「元気わっしょいCAN〜西日本交流館」
(西日本地域の多彩で多様な元気の集結)



Panasonic プロGRESSIP3Dシアター
(美しい海を守る海洋調査隊「SEA SQUAD」の冒険物語)



今後発表される企業

- ◆東ソー(株) / (株)トクヤマ
- ◆協和発酵工業(株)
- ◆在日シェルグループ
- ◆(株)ブリヂストン
- ◆(株)関西マルタカ
- ◆(株)メルシー



NTT西日本「わくわく・どきどきまわり大魔神」
(ITを支えられるコミュニケーション社会)



日立グループ館
(モーション・マジック・シアター 嵐嵐伝説〜未来へのメッセージ)



「発見」の街並
世界からさまざまな「元気」のアイデアを集め、未来の「元気」についてのヒントを発見するゾーン。



宇部興産「UBEパビリオン」
(心と夢・技術 美しき地球を未来へ)



「エネルギー中国電力館」
(地球環境をみんなで見守ろう)



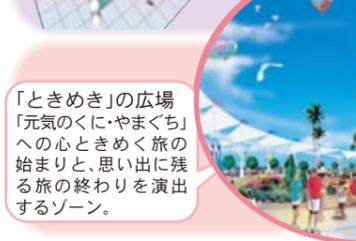
西京銀行・富士通「ファンタジーサーカス」
(見てふれてみんなで作る)



山口銀行「カラクリ・ドリーム・シアター」
(山口銀行はあなたのドリームサポーターを目指します)



下関・時空物語館
(時空を超え、下関市の過去、現在、未来を綴る)



「ときめき」の広場
「元気のくに・やまぐち」への心ときめく旅の始まりと、思い出に残る旅の終わりを演出するゾーン。

元気の素！山口きらら博を大紹介



てくれるという会員の結束力の強さを自慢にしています。県下の地域的意識の差はどうですか？
湯田／何をやる場合も、地域間にある程度の温度差が生じるのは仕方ないことだと思います。山口きらら博は、その温度差を少しでも小さくするために「山口県丸ごと山口きらら博」という認識でいرون

な取り組みをしています。県民参加を進めているのもそのひとつ。市町村の日を設けたのもそうです。そして、山口県は有数の観光県ですから、山口きらら博プラス観光で県内を広く楽しんでもらう仕掛けもそうです。下関の海響館などが今後生きてきますね。
藤本／自分たちの博覧会だという意識をもっともっと広げたいものです。

設の樋音の中で、その舞台づくりも完成間近です。
藤本／一三〇年の歴史を持つ山口県初の一大イベント。その舞台を活用しない手はないですね。
湯田／そうですね。我々が用意した舞台を県民の皆さまが活用していただき、自分たちの将来のために一つでも二つでも役立つものを見つけてもらいたいんです。
藤本／我々も、ぜひそのステージに上がりたいものです。



ございました。
湯田／どういたしまして。今後も地域に大きく貢献していられるであろう21世紀の建設業界に期待しております。
藤本／是非、ご期待にそえるようになりたいと思います。博覧会が大成功に終わることを願っております。本日は本当にありがとうございます。